

# 宮城県

## 公文書館だより

第20号



- ・所蔵資料の紹介「公文書にみる明治期の宮城の馬」
- ・宮城県の一瞥知識「歩兵第4連隊」
- ・公文書館の仕事、寄贈図書、収蔵状況、お知らせ、利用案内

### 所蔵資料の紹介

## 公文書にみる明治期の宮城の馬

平成23年(2011)3月11日に発生した東日本大震災で被災した岩手・宮城・福島三県のうち、岩手では同年5月にチャグチャグ馬コが、福島では同年7月に相馬の野馬追いが、各地の夏祭りに先駆けて開催されました。この2つの行事は、チャグチャグ馬コが「農馬」、野馬追いが「軍馬」という違いはありますが、馬を中心とする祭礼・行事です。開催が危ぶまれるなかで、規模こそ縮小されたものの例年行われている月に開催されたのは、地域の人びとの復興へ懸ける思い、そして、この行事に対する強い思いがあったからでしょう。このように、古代以来の馬産地である東北地方のなかでも、岩手・福島両県は現在にいたるまで、馬の文化が地域の核として伝わっているのです。

では、宮城県は……という、現在、いま紹介したような馬を中心とする祭礼・行事はみられませんが、かつては国内有数の馬産地で、農馬・軍馬を多数輩出していました。そこで今回の資料紹介では、当館所蔵の公文書(『牧畜』M35-0074、史料の引用はすべて『牧畜』による)から、明治期の宮城の馬について紹介したいと思います。

東北地方は古くから貴族や武士の羨望的となる良馬を数多く輩出してきました。江戸幕府は、馬買役人である公儀御馬買衆を秋田・盛岡・仙台藩(来訪順)に毎年派遣して、馬を検分させて購入しています。御馬買衆の派遣は元禄3年(1690)を最後に廃止されますが、幕府はその後購入方法を変えて、幕末まで仙台・盛岡両藩から馬を毎年購入し続けました。武家の棟梁である将軍が使う馬は、全国に知られた名馬の産地である東北地方の馬、なかでも仙台馬(仙台藩)・南部馬(盛岡藩)を確保する必要があったからです。明治時代になると、「軍事ニ、農商工業ニ、多ク善良ナル馬匹ヲ供給」して、国家の「富強」(＝富国強兵)につとめるために、産馬業が保護奨励されます。また、国産馬の体格が洋馬と比較して見劣りすることから、洋馬を輸入して品種改良が進められました。

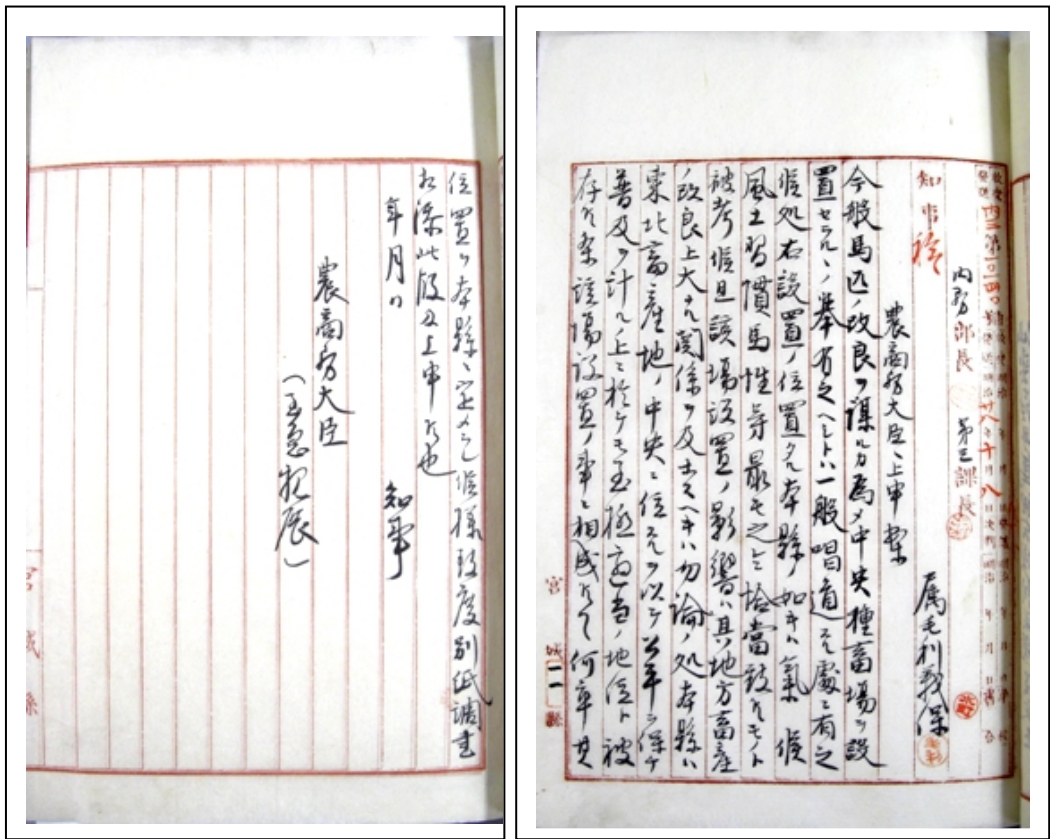


【『牧畜』M35-0074】

明治28年(1895)、品種改良をはかる目的で新設される中央種畜場の設置場所として、東北六県中、「其位置、気候、土地、慣習、馬性等」を考えると、宮城県が「好適地」として、県は国に対して、誘致活動を展開します。その際、宮城の馬の特徴(「馬性」)について、「青森・岩手ノ産馬ハ骨太ク力強ク、能ク労役ノ久シキニ堪ユルノ長所アルモ、挙動軽快ナラス、感覚遅鈍ナルノ欠点ナキニアラス、之ニ反シ我県ノ産馬ハ、其世間一般ノ需用上ニ於テハ、或ハ之ニ及ハサルノ事実アルハ、体格狭小ニシテ力量亦タ彼ニ及ハサル所アルニ由ルヘシト雖(いえども)、性質ノ順良ニシテ挙動軽快、感覚敏捷ヨク訓練シ易キノ長所アルハ、人ノ普(あまね)ク許ス処ナリ、」と、やや苦しい説明ですが、青森・岩手県産の馬よりも宮城県産の馬が優れている点を主張します。結局、翌年には青森県に奥羽種馬牧場が設置され、岩手県に岩手種馬所、宮城県に宮城種馬所(西大崎村、現大崎市)が設置されることになりました。

ところで、仙台馬・南部馬は、軍馬としてだけでなく、農馬としても優れていることが広く知られており、江戸時代には、馬の売買を生業とする博労(ばくろう)が関東からもやって来て、馬市は大いに賑わいました。

江戸時代から明治前期にかけての農馬の使用については、「農家ノ馬匹ヲ飼養スルハ主トシテ肥料ヲ取り、使役ハ肥料及收穫物ヲ運搬シ、挿秧(そうおう=田植)ノ期ニ至レハ農家ハ一般代掻ト称シ水田ヲ攪和シテ其準備ヲナシ、農業余業トシテ燃料ヲ家宅ニ駄送スルノ用ニ供シ、一トシテ馬匹ノ必要ナラサルナシ、且ツ從來ハ代掻ノ外耕耘ニ馬匹ヲ使役スルコト少ナク専ラ手耕ヲ用ヒ来リシカ、輓近(ばんきん=最近)馬耕奨励以來一層其必要ヲ感シ之ヲ使用スルモノ日ニ多キヲ加ヘ将来益増加スルノ状態ナリ、」とあり、農家が馬を飼育する主な理由は、肥料となる厩肥を得ることと、収穫物を運搬させることにありました。意外に思われるかもしれませんが、農作業は「手耕」(人力)によるところが大きく、馬を使うのは代掻き程度でした。明治中期になって、国策として馬耕が奨励されます。「一反歩ノ田ヲ耕スニ人耕ハ二人ニテ一日ヲ要シ、馬耕ハ僅ニ三時間ヲ要ス、馬耕ノ人耕ニ優ル如此(かくのごと)シ、」。これだけ差があるのですから、奨励されたのもうなずけます。



【中央種畜場設置に付、農商務大臣へ上申案】

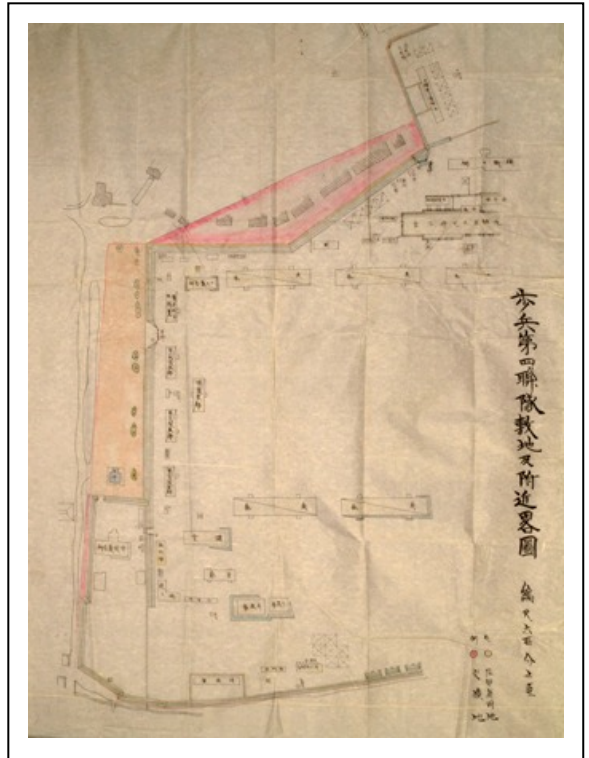


## 歩兵第4連隊

宮城県公文書館のある榴岡の地には、かつて陸軍の歩兵第4連隊が置かれていました。

歩兵第4連隊は、明治8年(1875)9月に仙台鎮台に設けられた部隊です。明治10年の西南戦争出兵を皮切りに、日清・日露戦争、満州事変などに参戦。第2次大戦では第2師団の主力部隊として、ジャワ島、ガダルカナル島などを転戦し、フランス領インドシナのサイゴン（現在のホーチミン）において終戦を迎え、解散しました。現在、兵舎の一部は仙台市歴史民俗資料館として使用され、当時の面影を偲ぶことができます。

当館では、大正5年(1916)に第4連隊の土地の一部を宮城県へと所管換えした際に作成された資料を所蔵しております。文書だけでなく、当時の配置図（資料）なども見ることができますので、お近くにお立ち寄りの際にはぜひ足をお運び下さい。



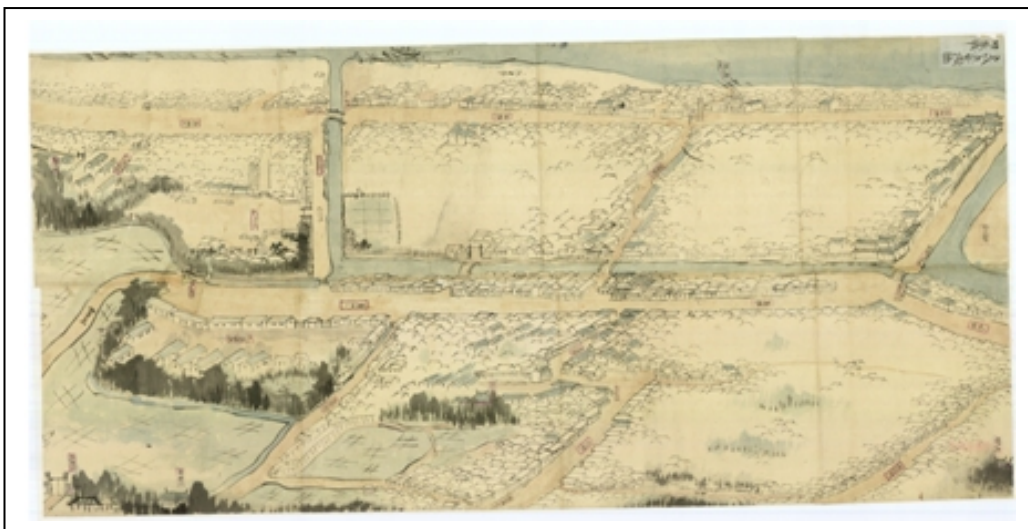
【資料】「大正五年 地理 地種組替」T5-0006

### 公文書館の仕事～絵図面のカラー複製について

当館が収蔵する絵図面は、主に、村絵図面、御林絵図及び寺院境内区画図です。

村絵図面の多くは、明治10年から20年代に明治政府が行った地租改正などにともない、宮城県が土地の把握をすすめる過程で、村ごとに作成した絵図面です。御林絵図は、江戸時代に仙台藩が直轄する森林を管理するために作成した絵図面です。寺院境内区画図は、寺院所有の土地を詳しく把握するために、明治10年代に宮城県が作成した絵図面です。当館では、これらの絵図面を全てカラー複製化することとし、藩政期（御林絵図を含む。）のものについては既に終え、現在は、明治10年代までのものを地域ごとに順次行っています。

平成23年度は、牡鹿郡、亶理郡及び伊具郡の絵図面110枚をカラー複製化しました。これによって、複製化率は、68.3%となりました。貴重な資料の複製を是非御活用下さい。



【「牡鹿郡石巻市街図」 V-1207】

## 寄贈図書

平成 24 年 1 月から 3 月までに、関係機関より寄贈された図書の一部をご紹介します。

「鳥取藩の参勤交代」	鳥取県立公文書館
「郡役所文書の基礎的研究」	別府大学
「名古屋市史」	名古屋市史編さん室
「愛知県史研究 第 15 号」	愛知県
「八王子市史叢書 1 村明細帳集成」	八王子市
「民具マンスリー」	神奈川大学日本常民文化研究所
「江川文庫古文書史料調査報告書七」	静岡県教育委員会
「中央大学史資料集 第 24 集」	中央大学史料委員会
「南山学園史料集 7」	南山大学史料室
「東北アジア研究センター報告 3 号」	東北大学東北アジア研究センター
「青森県史叢書 近現代の美術家」	青森県
「茨城県立歴史館報 39 号」	茨城県立歴史館
「宇都宮孟綱日記第 7 号」	秋田県公文書館
「佐竹北家文書・佐竹西家文書目録」	秋田県公文書館
「江戸文庫古文書史料調査報告書四、五、六」	静岡県教育委員会
「常陸水戸徳川家中 岡崎家文書目録」	茨城県立歴史館
「茨城県史研究 96 号」	茨城県立歴史館

このほか、たくさんの関係機関から寄贈がありました。ありがとうございました。

## 収蔵状況

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

区分	公文書					絵図面	行政資料等	合計
	明治期	大正期	昭和期	平成期	小計			
所蔵数	3,671	1,692	25,011	4,710	35,084	1,565	6,465	43,114

## お知らせ

### 1 公文書館の移転について

宮城県公文書館は、収容能力を確保し、資料の適確な保存管理を行い、より多くの皆様方に御利用いただきますことを期待し、平成 24 年度、宮城県図書館（泉区紫山 1-1-1）内に移転することになりました。

移転の準備のため、平成 24 年 10 月（予定）から休館させていただくこととなります。宮城県図書館に併設後の宮城県公文書館の再開は、平成 25 年 4 月を予定しています。日程が確定しましたら、改めてお知らせいたします。

皆様には、長期にわたり閲覧ができなくなるなど、大変御迷惑をおかけすることになりますが、御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

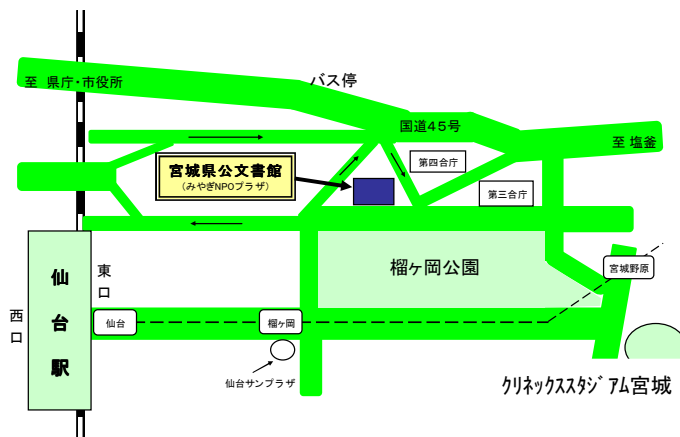
## 2 マイクロフィルム化について

平成23年度は、以下の簿冊12点のマイクロフィルム化を行いました。

年号	年度	配架番号	簿冊名
明治	19	0042	木道書類, 明治13~19年
明治	33	0052	鉄道軌道・道路・渡船・河川港・河川・池沼・諸費・土木費 明治27~33年
明治	34	0095	古川馬車鉄道, 明治32~34年
明治	35	0075	角田馬車鉄道-1
大正	01	0093	鉄道・軌道-仙北軽便鉄道小牛田石巻間敷設関係書類, 明治44~大正元年
大正	04	0095	鉄道・軌道-秋保軌道敷設
大正	07	0082	鉄道軌道 名掛丁踏切道改築関係
大正	11	0087	鉄道・軌道-松山人車軌道
大正	13	0074	仙南温泉軌道図面
昭和	01	0197	金華山軌道図面
昭和	13	0133	鉄道軌道
昭和	14	0104	鉄道軌道

### 利用案内

- 1 開館時間 午前9時から午後5時まで
- 2 休館日 日曜日, 土曜日, 国民の祝日・休日, 年末年始, 特別整理期間
- 3 交通のご案内 JR仙石線榴ヶ岡駅下車(徒歩7分)  
仙台市営バス・宮城交通「第四合同庁舎前」下車(徒歩3分)



### 宮城県公文書館だより—第20号—

平成24年3月30日発行

編集発行

宮城県公文書館

〒983-0851

宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5

TEL 022-791-9333

FAX 022-297-1633

URL <http://www.pref.miyagi.jp/koubun/>

E-mail koubun@pref.miyagi.jp